

ふるさと歴史散歩

〔第142回〕 府中町の野鳥⑬ ノゴマ



ノゴマはスズメより一回り大きい鳥で、北海道で繁殖し、東南アジアなどで越冬します。雄は喉の赤い色がとてもしきれいで、「日の丸」などと呼ばれていますが、雌は赤い色がなく、全身茶褐色の地味な色合いです。

通過することが知られており、特に秋には10月中旬から下旬にかけて、都市公園などで見ることが出来ます。広島城では、毎年数個体が通過することが知られており、2014年の秋には、少なくとも雄4個体、雌2個体が確認されています。

私が最初に見たのは春の渡りの時期の与那国島です。海岸沿いの草地で、きれいな声でさえずつていました。体の色が周りの枯れ草に同化していたので、まるで赤い玉がさえずっているかのような感じを受けました。

府中町でも秋の渡りの時期に何度か観察されています。私の自宅の庭にやってきたこともありました。2014年の秋には南公民館の敷地内で死体が拾得されています。

しかし、秋の渡りの時期にはさえずらないことに加え、ツツジなどの植え込みの中に隠れて行動することが多いため、意外と目につきにくいのです。

前述の通り、2014年の秋には広島城で多くの個体が観察され、多くの野鳥観察者が集まりました。朝9時頃に行くと、十数人の観察者がツツジの植え込みのまわりを取り囲んでいました。広島城を訪れる他県や外国からのたくさんの方の観光客も、その異様な光景に驚いていました。

ちよつとした茂みにいることもあるので、10月の下旬は茂みの中をよく探してみてもいいでしょう。

府中町文化財保護審議会委員

佐伯 昌彦



正しいごみ出しにご協力を

府中町環境センター(八幡四丁目1-1) ☎286-3266



特別収集日

午前8時30分までにごみステーションに出してください!

10月12日(月) 体育の日	普通ごみ(月・木曜日収集地区)
	有価物(月曜日収集地区)

※環境センターへのごみの持ち込みは、受け付けていません。

庭木を剪定した場合は…

- ◆剪定した庭木の枝は、長さ50cm・直径30cm以下に束ね、普通ごみに出してしてください。(一度に2束まで)
- ◆小さな枝、草、葉は中身が見える袋に入れて出してください。(一度に2袋まで)



ごみの不法投棄は、犯罪です!
不法投棄を目撃した人は、警察に通報してください。



ごみを出す時間にご注意を!
前夜や早朝に出すとカラスが荒らすことがあります。

衣類を出す場合は…

10月は衣替えのシーズンです。次のことに注意してごみを出してください。

- ◆雨に濡れるとカビが発生しやすくなり、再利用ができなくなります。袋の口をしっかりと閉めるか、天気の良い日に出してください。
- ◆布団、毛布、座布団、クッション、枕、ぬいぐるみ、靴下、手袋、布製カバンは、有価物ではありません。次の①②のとおり当てはまるごみの種類の日に出してください。

①布団、毛布、座布団 → 大型ごみ

②クッション、枕、ぬいぐるみ、靴下、手袋、布製カバン → 普通ごみ
(30cm以上のものは大型ごみ)